

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
群馬県前橋市元総社町七三―五
TEL 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435
http://www.neues-asahi.jp

宇佐見英治「見る人―ジャコメッティと矢内原」に、秋も深まった真昼間、パリ・モンパルナスのカフェで宇佐美英治がジャコメッティに会った時の話が出てきます。ジャコメッティの膝の上には石版用の大きな画用紙がひろげられ、その指に鉛筆が握られ、宇佐美英治は「描かれるな」と私は思った。と書いています。

個展の折に画家が描いてくれた自分の働く姿や酒席での姿が額に入って自宅に掛けてありますが何となく気恥ずかしいものです。後姿なのに、どう見ても私であり、また違った画家による少し妖艶な顔にこんな風に映っているのかな・・・と自分であつて自分でない顔にいささか戸惑つたり・・・。少々、心の中は複雑です。

数日前に富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館で開催されている「さのう・今日 掛川孝夫展」に行ってきました。

掛川孝夫氏は現在、富岡市神農原にアトリエを構え描き続けています。一九六〇年代から現在に至る作品は掛川氏の仕事の姿勢と流れが感じられます。初期の作品に「母の像」と「自画像」がありました。

自画像は、現在の掛川氏そのもの。前向きに物事に向き合う姿は今でも変わらず、透明感があり感動しました。

二〇一一年三月一日の東日本大震災以後、一九〇〇人に近い死者、行方不明者を追悼するため被災された人々を油彩やコラージュで表現した作品は深い悲しみとともに鎮魂の想いを心に刻みます。

三月一五日(月曜日)は休館(まで開催しています)是非ご覧になって下さい。詳細は美術館に直接お電話して下さい。

掛川氏のアトリエは何度か訪問しています。天井が高く、広いアトリエで多くの仕事をしている姿を見て心に響いてくるものがありました。

生きるという事。表現者が表現して発表するという事。その姿を目の前で知る・・・こんなアトリエ訪問は楽しいもので貴重な時間です。

作家のアトリエを訪問する時には、実に多くの事を知り、そして学ぶと同時に作家の裸をみるような部分もあり、それだけ心を開いていただいている事に感謝もしています。

美術館に行ったことがない方、遠いからとなかなか出かけられない方、いろいろな事情はあることと思いますが、山々の木々もそろそろ芽吹いてきています。「そうだ美術館に行こう」と出かけてはいかがでしょうか。そして、ノイエス朝日にもお出かけ下さい。

(武藤)

ノイエス朝日(展覧会)のご案内

住谷夢幻展 (企画)

会期 三月七日(土)～一五日(日)
午前一〇時～午後六時
会場 ノイエス朝日 スペース1・2



岡部蒼風「書論ノート」の中に「線」について次のようなことが書いてあります。

- 1 触覚的には 冷たい、暖かい、かたい、・・・
- 2 聴覚的には キーンと高いひびき、・・・
- 3 臭覚的には スーンと澄んだ香りとか、・・・
- 4 味覚的には 甘い、辛い、・・・
- 5 内臓感覚的には 息が苦しくなる、・・・

(一部、略)

線からうけとるこのような感じをわたしは線の質感と呼ぶのである。もちろん、それはさきの線の運動性と無関係ではない。どころか切実にかかわっている。しかし、運動性だけでは割り切れないものがある。しかも、この線の質感は「線の性質」というばかりでなく、さらに根本的にはそのような線をなした筆者の性情とつよくかかわっているというところに、書線の特質があるともいえるのである。ところで、線の質感は何に由来するかというところである。端的にいえば「筆者の人がらに由来する」――人間性(性質・好み・おかれた状況・思想・生活態度・・・)の反映ということになるであろう。

書家ではなく、書表現ということでは自己との可能性と向き合って制作を続けている夢幻氏の仕事の一部を展示します。書で自己解放を・・・と、問い続け、探り続け、紙の上で、墨にまみれ制作した・・・線のの中に岡部蒼風が言う夢幻の人間を発見してみして下さい。

大作を含め小品も展示いたします。
作家在廊予定・・・土曜・日曜・平日は午後二時以降

展覧会についてのお問い合わせは三月五日以降にお願い致します。

ニットソーイングクラブ 真 第十四回 春の作品展

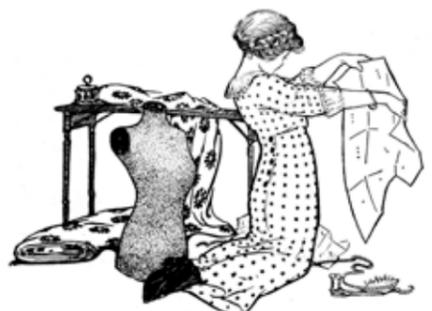
三月二十四日(火)
午前十時三十分～午後六時
三月二十五日(水)
午前十時～午後六時
三月二十六日(木)
午前十時～午後三時

会場 ノイエス朝日

体験予約・お問合せ

ニットソーイングクラブ 真

電話 027・235・0302



しらかわともこ展 (企画)

Part 2 1979―2002

会期 三月二十八日(土)～四月二日(木)
午前十時～午後五時三十分

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

二〇一三年に六十六歳で亡くなられた白川智子さんの二回目の個展です。

今回は一九七九年～二〇〇二年の間に制作された作品を展示いたします。ドイツ～東京～ドイツ～東京～前橋に夫の白川昌生氏と歩み、制作、発表を続けてきた「しらかわともこ」の歩みの一部をこの機会に是非ご覧下さい。

二〇一六年三月十九日(土)～二十三日(水)に第三回「しらかわともこ展」Part 3を実施する予定です。作品集を会場にて販売いたします。

展覧会についてのお問い合わせにつきましては、展覧会会期中にお電話下さい。開廊以外は、スタッフ不在の場合もありますので、よろしくお願ひ致します。

DiPS.A news

Vol.21



TOPICS

ぐんまの昭和写真展

平成27年6月20日(土)～28日(日) 10:00～18:00 入場無料



ノイエス朝日・ディップス朝日では、写真展会期中に「昭和」を感じられる様々なイベントを企画しています。昭和30、40年代の貴重な映像の映写会や、昔の遊びを体験できるコーナーなど、世代を超えて楽しめる会場となること間違いなし！写真展の作品公募も始まりますので、是非お友達やご家族にもご案内の上みなさままでご来店ください！

ノイエス朝日にて開催

ぐんまの昭和写真展 1階

皆さまからご応募いただいた「ぐんまの昭和」を感じる写真をパネル展示します。

映写会 2階

6/20(土)・21(日)・27(土)・28(日) ①10:00～ ②14:00～
群馬県内の昭和時代の懐かしい街並み・ニュースなどの映像が視聴できます。

邦楽演奏 1階写真展会場にて

6/20(土) 14:00～
琴などの演奏を行います。
抹茶サービス(有料)もあります。



DiPS.Aにて開催

昭和レトロコーナー 1階

赤電話や蓄音機、ブリキ看板などを展示。
懐かしの古き良き“昭和”を感じることで
できるコーナーです。

おもちゃの病院 2階 6/20(土) 10:00～17:00

壊れたおもちゃ、お持ちください。

むかし遊び体験コーナー 2階 6/21(日)

メンコやベーゴマ、けん玉、お手玉、紙芝居
など昔懐かしい遊びが体験できます。
親子でどうぞ！



みなさんの「昭和」を感じられる
スナップ写真を募集します

大募集

応募期間：平成27年3月2日(月)から5月29日(金)まで

受付：DiPS.A店頭、または郵送にて

〒371-0846 群馬県前橋市元総社町70-1 ディップス朝日 「ぐんまの昭和写真展」係

応募資格：プロ・アマ問いません 下記の注意事項をよくお読みのうえ応募してください

◆注意事項◆

- ①撮影場所が群馬県内で昭和の時代に撮影されたもの。
- ②テーマは風景、建物、人物など自由です。
- ③プリント写真をお持ちください(ネガ・ポジフィルムはご遠慮ください)。
※その場でスキャンしてお返しすることができます。
※アルバムから写真を剥がすことが困難な場合はアルバムごとお持ちください。
- ④応募は1人5点まで、応募期間内であっても定数に達した時点で締め切りますのでご了承ください。
- ⑤応募にあたっては1.氏名、2.住所、3.連絡の取れる電話番号とそれぞれの写真についての撮影場所・撮影年代をお書き添えのうえ受付をお願いいたします。



下記については判断により受け付けできない場合がございます。予めご了承くださいませ。

- ・公序良俗に反するもの
- ・プリント写真の状態が悪いもの(破れ、極端なピンボケなど)

※みなさまからご応募いただいた写真をもとに「ぐんまの昭和写真集」の発行を予定しております。
ご応募いただいた写真は掲載にご同意いただいたものとさせていただきます。

- ◆応募の特典◆
- その1 あなたの写真をパネルにして展示！
(写真展終了後、パネルにした状態でお返しいたします)
 - その2 選考によりご応募いただいた写真が写真集に掲載されます
 - その3 「ぐんまの昭和写真集」の購入割引をいたします
 - その4 当店オリジナルブランド「tocolow」製品プレゼント

お問合せ先 ディップス朝日：027(254)1212 担当：店長・田中/藤井

Work shop in DiPS.A

ワークショップ イン ディップス朝日

次回：2015年3月25日(水)、28日(土)



リング製本コース	10:30-12:00	参加費 ¥2,000 (税込)
活版印刷コース	14:30-16:00	参加費 ¥2,000 (税込)
アルバムカフェコース	13:00-16:00	参加費 1時間 ¥500 (税込)

ワークショップは完全予約制です。ホームページまたはお電話・ご来店にてお申し込みください。なお、上記開催日はお1人での参加ももちろんOKです。また、3人以上でお申込みいただける場合は別日程で開催することも可能ですのでお気軽にお問合せ下さい。

スタッフがワークショップや商品作りの様子をご紹介するフェイスブックページもみてください！
<https://www.facebook.com/dipsasahi>

Find us on Facebook

掲載内容についてのお問い合わせ
お申し込みはこちらまで…

DiPS.A ディップス朝日

月曜～金曜 午前9時～午後7時
土曜 午前9時～午後5時(日曜・祝日休業)
〒371-0846 群馬県前橋市元総社町70-1
TEL.027-254-1212 FAX.027-254-1227
<http://www.dips-a.jp>

